



旭小ブログほぼ毎日更新中！最新情報はブログをご覧ください！

# 旭の子だより

～かしこく やさしく たくましい 旭の子～ No.5(2025.9.17)



## 「よろこびたくさんの2学期」にしよう

～「目標」をもって生活をするよ～ 校長 半田幸弘

子どもの頃、学期はじめや長期休み、何かにつけて「目標」を立てさせられた。そして、そのほとんどが達成されずに終わっていた。それがいつ頃からだろうか、目標を決めてその8割くらいが達成できるようになった。夢見る年代を過ぎ、現実的な目標や身の丈にあった願いをもつようになったからだろうか。それとも自分は意外にも努力をしているのだろうか、どちらかはわからない。ただ、アメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの言葉「Where there is a will, there is a way.」(意思あるところに道ができる)はあると思うし、こうありたいという意味を「目標」として明確にすることは大切だと思っている。そんな思いから、学校経営上、いろいろな場面で目標や願いを示している。

昨年子どもたちのお願いしている目標が「あいある旭小」、その「あい」とは、「あ」あさごはん、あいさつ、ありがとう、「い」いのちをだいじに、いじめなし、いっしょうけんめい、である。

そしてこの4月、子どもたちに「いのち輝く1学期」のお願いをした。新緑の季節、子どもたちも希望に燃え、いのちを輝かせてほしい思ったからである。そして、子どもたちは輝いて1学期を終わることができ、目標はほぼ達成できたと思っている。

そして9月、2学期の始業式に次のような話をした。

2学期は学校生活の充実期、日々の勉強や運動はもちろん、運動会や修学旅行、校外学習などがあり、成長の機会がたくさんあります。その機会に努力し、がんばることで自分を成長させ、成長した自分によるこびを感じてほしい。そんな皆さんを先生方は全力で応援します。また、運動会や学校公開で成長の姿を見せることで、保護者や地域の方々にもよろこびを感じてほしい。もちろん先生方も一緒にその成長をよろこびたい。そして、旭小が「よろこびたくさんの2学期」になるようにして下さい。

こんな目標を子どもたちにお願ひした。皆さん、よろこびたくさんの旭小学校にご期待下さい！

PTA共催事業 旭小アカデミア計画2025第一弾！参観自由！

### 「かけっこ教室」を開催！

昨年に続き、大東文化大学スポーツ・健康科学部 佐藤真太郎先生をお迎えして「かけっこ教室」を開催します。ぜひご来校いただき、保護者の皆様もかけっこのコツを知り、ご家庭でもお子様と一緒にかけっこを楽しんでほしいと思っています。なお、本事業の費用はPTA会費より出させていただいております。PTA会員の皆様、いつもありがとうございます。



- ・日 時 10月16日木曜日  
2校時(9:40-10:25)低学年(1,2年生)  
3校時(10:50-11:35)中学年(3,4年生)  
4校時(11:40-12:25)高学年(5,6年生)
- ・会 場 本校校庭(雨天時は体育館)
- ・対 象 全児童(保護者の参観可)

※参観申込みは不要です。実技指導に支障のない位置でご覧ください(雨天の場合には参観できません)。駐車場はありません、ご理解とご協力をお願いします。

### ご寄付ありがとうございます！

本校にある落葉樹の落ち葉処理の苦勞を話したところ近隣の方から伐採費10万円をご寄付いただきました。市の環境整備費と合わせて体育館西のポプラの木を伐採します。残念な気持ちもありますが、これ以上大きくなると手に負えなると共に体育館雨樋の保護のためにも行いたいと思います。

## ☀️☀️夏の思い出☀️☀️

この夏、万博に出かけた。知人から「一日でもいいから行ってみるとよい」との言葉を聞き、出かけてみた。すごかった。大屋根リングの大きさに驚いた。値段は高いがグルメも充実。世界中の



パビリオンを外から見るだけでも楽しかった。やっと入れたパビリオンの中でも中国館には驚いた。科学技術で日本を超えていると思わせる展

示が多数あった。三日間の予定でいったものの、二日で満腹、三日目は大阪市内観光に切り替えた。万博は10月13日まで、たとえ一日でも一見の価値はあると思う。

石巻にも出かけた。東日本大震災の震災遺構を見る、そして行くこと自体が復興支援になるからである。震災後3回目の訪問となるが、震災遺構の整備が進んでいることに驚いた。この震災を風化させず、同じような被害を絶対に出さないとの強い決意を感じた。特に児童74名教員10名が津波により亡くなった大川小が震災遺構として整備され以前とは違って見えた。ただ、そこで考えたことは全く同じだった。「自分ならどうしたか、そしてどうするか?」とても難しいが、教職にある以上、絶対に考え続けなければいけないことだと思っている。



## 旭の子の学力・学習状況について

旭の子を代表して6年生が4月17日に受けた令和7年度全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科)の結果が1学期末に届きました。平均正答率は、国語は県や全国を下回ったもののほぼ同程度、算数は県を上回り、全国は下回ったもののほぼ同程度、理科は県、全国ともに大きく上回っています。その結果、三教科の平均正答率では、県、全国ともに上回る結果となっています。

細かい部分を見ると、国語では話すことや聞くこと、情報の扱いに関する問題、算数では求め方を式や言葉で記述する問題、パーセントの意味の理解ができていない児童が多かったです。

本結果を受け、今後も教員研修などを通して指導力向上に努め、旭の子全員の学力向上に取り組んでいきたいと思っています。

## 第42回旭小学校運動会記念タオル作成中!



10月16日に開催されるかけっこ教室の準備体操の中でタオルを使うことになりました。そこで、これまで運動会に報償として配布していたノートに変えて、今年度は旭小オリジナルタオルを作成し配布することとしました。ただ、学校予算だけでは足りないのでPTA会費からも援助いただいています。かけっこ教室当日に配布、使用し、持ち帰らせます。今年度の旭小の思い出として大切にお使いください。なお、運動会での使用は任意の予定です。

### <半田の独り言～緊急事態、どうする?～>

9月11日、3時ちょっと前、大泉町での刃物所持の不審者情報が入ってきた。ちょうど、低学年児童の下校中。まさに緊急事態、素早い判断が求められる。私の全校放送の後、子どもたちを追いかけるように職員室にいる先生方が通学路の見守りに出てくれた。そして校務員さんが青パトで大泉との境界付近に行ってくれた。高学年児童の下校の際には方面ごとに先生方がついて帰った。青パトのパトロールも継続した。夕刻、一番遠方まで行った先生が帰ってきたので一安心。その後の不審者確保を知り、やっと落ち着いた。ピンチの時にその人の本質や組織の力がわかるといわれる。その点で、教職員と組織としての危機対応能力が示されたと思っている。何が起こるかかわからない昨今、さらに危機対応能力の向上を考えていきたい。

### <おまけの独り言～前々号、前号に続き、、～>

9月3日(水)、視覚障害のある地域の方(女性)から電話があった。小学生の優しさがうれしくて電話してしまった、自転車の小学生3名が国道354とりせん近くの横断歩道で車が来ていないことなどをやさしく声で教えてくれた、ことだった。ここ最近、学校への苦情はほとんどなく、お褒めの言葉が毎月届くことに、地域にも子どもたちにも感謝したい。